

関西文化学術研究都市での最先端研究の推進について

【担当省庁】内閣官房、内閣府、文部科学省、国土交通省

スマートシティの実現を目指す関西文化学術研究都市において、大学や研究機関等あらゆる主体が相互に交流し、イノベーションの創出に一層取り組めるよう、以下のとおり対応をお願いしたい。

- 理化学研究所における疾患特異的 iPS 細胞の利活用の促進を目的とした iPS 細胞創薬基盤開発連携拠点の総合的な機能強化及び人と AI・ロボットが柔軟に共存する未来社会に向けた人に寄り添い、人をさりげなく支援する「ガーディアンロボットプロジェクト」による分野融合研究の更なる推進のための財政的支援
- 大阪・関西万博との連携強化のため、「けいはんな万博」の政府の次期万博アクションプランへの位置付け
- 学研都市の次ステージプラン策定への主体的な関与

【現状・課題等】

- 世界では iPS 細胞を創薬支援ツールとして利活用することを目指す研究開発が加速し、iPS 細胞等で作製した臓器細胞を搭載したデバイスが実用化すれば大きな市場獲得に繋がると期待されている。
- 本都市には、令和元年にロボティクス研究の研究チームが A T R（株式会社国際電気通信基礎技術研究所）に設置され、令和 3 年度から情報統合本部の下、ガーディアンロボットの実現に向けた研究開発が実施されるなど、ロボット研究に強みを持っている。
- 大阪・関西万博と「けいはんな万博」の緊密な連携により、未来を拓く知の創造都市「けいはんな学研都市」を世界にアピールする大きな機会となる。
- 本都市は、都市建設開始以来、3つのステージを経て、現行の第4ステージ「新たな都市創造プラン」は令和7年度までとなっている。「サード・ステージ・プラン」策定時までは、国の支援と積極的な関与を得て策定してきており、国土軸形成上も重要な役割を果たす都市であることから、次ステージプランの策定に向けては、再び国に主体的に参画いただき、国家プロジェクトとしての残課題の整理と解決方策の検討が必要

京 都 府 の担当課	商工労働観光部 文化学術研究都市推進課 (075-414-5196)
---------------	------------------------------------

【国の事業等】

■概算要求

〔文部科学省〕

- ▶ 国立研究開発法人理化学研究所運営費交付金 665.5 億円
(令和5年度予算 547.7 億円)

我が国唯一の科学技術全般を総合的に行う研究機関として、国家的・社会的ニーズを踏まえた戦略的・重点的な研究開発、世界トップレベルの研究基盤の整備・共用・利用研究及びパラダイム転換をもたらすような創造的・挑戦的な先端融合研究等を実施するとともに、優秀な研究者等の育成・輩出等を図る。

〔内閣官房〕

- ▶ 大阪・関西万博の機運醸成に向けた取組の強化 178 百万円
(令和5年度予算 126 百万円)

万博の成功に向けて全国的な認知度等をさらに向上させ、国民の興味や関心、期待感等を高めていくために、関係機関と連携しながら、機運醸成に向けた取組を実施

【京都府の取組】

■けいはんな未来都市まちぐるみ創造事業 (令和5年度予算 900 千円)

- ▶ 令和7年度までの「新たな都市創造プラン」に基づき、産学官民の約 80 機関により構成する「新たな都市創造会議」において、関係者との協働のもと、文化・学術研究の振興、イノベーションの推進、都市形成に係る各種取組の進捗状況等を取りまとめ、本都市の建設状況や研究成果等を整理
- ▶ 次ステージプランの策定に向けて、令和6年度から本格的に検討を開始。

■けいはんな万博の取組

- ▶ 令和5年6月、105 の大学・企業などの賛同を得て「基本計画」が策定されており、11月に検討組織を「準備会」から「運営協議会」に移行
- ▶ オール京都体制で作成している「大阪・関西万博きょうとアクションプラン」にけいはんな万博を位置付けるとともに、大阪府・奈良県とも連携していく。